



2023.2.13 NO.36
保育室 すまいる

<月のテーマ：ひびきあう>

年齢別 月の保育のねらい



<2歳児>

- ルールのある遊びを通して集団で遊ぶ面白さを味わう。
- ごっこ遊びや模倣遊びなど、言葉でのやり取りを楽しみながら遊びを広げていく。

<4歳児>

- 友だちとのつながりを深め、共通の目的をもって遊びを進める。
- 経験の積み重ねが自信につながることを感じる。



<5歳児>

- 相手の気持ちを考え、思いやりの気持ちをもって接することの大切さに気付いていく。
- 日にちや曜日、時間を意識して行動し、生活の見通しをもって意欲的に過ごす。

<学童>

- 自分が感じていることに向かい合い、自分の居場所を確認する。

<冬の動物園>

1月31日(火)日差しが温かく気持ちの良い日でした。
動物園に遊びに行くことにしました。

冬の動物園は、どんなだろう？みんな寒くてどうしてるだろう？と楽しみに出かけました。

最初に出会うのはいつもかばさん。いつも水の中で元気なのに水の中に大きなおしりがない
「先生、かばさんいないよ」「いるよ。よく見てごらん」「いないよ。おしりないもん」
「よくみてごらん・・・」かばさんはいつもと違って水の外でうろろろしていました。
「ほんとだ！いた。何しているんだろうね？」

丁度お昼時に動物園に行ったので、どの動物もお昼をもらえる場所に向かっていました。
ライオンは日向ぼっこでゆったりとトラはEちゃんめがけて向かってきてはくるっと方向
転換を繰り返し、サル山のサルたちはおなががすいて喧嘩勃発、「すまいるのみんなみたい
だね」と大笑い、お昼を持ってきたお姉さんが餌を巻いているのを不思議がるSくん、
「何でごはん巻くの？」「投げているのではなくて、ケンカしないで食べやすいよ
うにしてあげているんだよ」でもSくんは??
ロバさんは、Eちゃんに一生懸命語り掛けていました。白くまくんは湯たんぽの
ケースをおもちゃにして遊んでいました。

手袋をしなくて雪で遊んでしまったSくんは、手が冷たくなって「手が冷たい」と
トボトボ・・・Yちゃんは考えて、毛糸の手袋をしているYちゃんの手で一生懸命に
Sくんの手を握ってあげて「あったかい？」と声をかけてくれました。Sくんが
「あったかくなってきた」と嬉しそうにしているとYちゃんはSくんの手をつない
でずっと一緒に歩いてくれました。手袋を貸すのではなく手袋をしている手で温めて
あげる発想は素敵だな...と思いました。

普通の靴をはいているSくんが雪の上を歩いて転ぶ事件が・・・
Yちゃんは、「私は雪の上を歩くからSくんは転ぶから雪の上でなくこっち歩いてね」
と言ってくれるのですが、手をつないでいる都合上自然にSくんも雪の中を歩くこと
に・・・それに気づいたYちゃんは、雪のないところを歩いてくれるようになりました。

冬の動物園それもお昼時、いつもと違う光景を楽しむこ
とができたメンバーです。友だち同士で助け合う気持ちがみえて
うれしい一時でした。

